

**公益財団法人横須賀芸術文化財団**  
**令和6年度第2回理事会**  
**議事録**

- 1 開催日時** 令和6年6月6日（木）10時30分から11時20分まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 第1研修室
- 3 出席者** 理事総数 7名  
出席理事 4名  
福本眞和（常務理事）、島内太郎、中村丁次、道平隆  
監事総数 2名  
出席監事 2名  
長堀薫、仁平純一

**4 議長** 福本眞和（常務理事）

**5 決議及び承認事項**

- 議案第3号 令和5年度事業報告及び決算(案)について  
議案第4号 令和6年度補正予算（第1号）について  
議案第5号 監事の任期満了に伴う次期候補者の選出について  
議案第6号 定時評議員会の招集について

**6 報告事項**

- (1) 令和6年3月1日以降の職務の執行状況について  
(2) 特定天井改修工事について  
(3) 野島 稔 メモリアル・コンサートについて  
(4) 個人情報の漏えいについて

**7 議事の経過概要及びその結果**

定刻に出席役員全員の着席を確認した後、福本常務理事より、議長については理事長又は副理事長がこれを務める旨定款第33条で定めているが、本日急遽両名とも欠席となったため、理事の互選により議長を選出したい旨説明。出席役員全員がこれに同意した。

渡邊管理課長補佐が開会を宣言。

理事の互選により、出席理事の中から福本常務理事を議長に選出。

福本常務理事が議長席に着き、定款第34条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。続けて、議事録署名人については、出席役員全6名を指名した。

福本常務理事が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

**(1) 議案第3号 令和5年度事業報告及び決算(案)について**

芦川事業課長（事業報告）及び佐久間管理課長（決算）が詳細を説明。

事業報告については、公益財団法人横須賀芸術文化財団は、横須賀芸術劇場及び横須賀市立ベイスクエア・パーキングの指定管理期間第3期の最終年度（10年目）

を終了した。令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、当劇場を含め市内経済が回復し、活況を取り戻したことを実感する年になった。次期指定管理期間に向け、これまで培った経験と実績を活かした効果的な事業を展開できるよう、継続して収支改善に取り組み、安定的な財政基盤の確立に努めた。施設維持管理においては、芸術劇場と駐車場ともに、利用者に安全・安心・快適な利用環境を提供できるよう、環境整備やサービス向上に取り組んだ。また、特定天井改修に向け、市の実施設計策定業務をサポートした。

芸術普及事業においては、開館以来初のロングラン公演として、広域からお客様が来場し、連日満員となった「日生劇場ミュージカル『ラ・マンチャの男』」をはじめ、話題性や独創性のある公演など、年間を通じてバラエティ豊かな公演ラインアップを実現し、多くの鑑賞機会を提供した。また、地域イベント「横須賀トモダチジャズ」と「YOKOSUKA ROCK'N ROLL FESTIVAL 2023」に共催し、令和8年度に開催を予定している「音楽フェス」に向け、ノウハウの蓄積につなげた。

芸術育成事業においては、劇場合唱団の運営、劇場オープンデーの開催、アーティスト派遣事業の実施など、幅広く展開した。

決算については、トータルで黒字決算となり、4つのトピックスがあった。1つ目は、劇場の施設利用が好調に推移し、令和5年度までの指定管理期間10年間の最高収益を記録した。2つ目は、横須賀市から光熱費値上げに伴う影響額の補助金があった。3つ目は、収益を利用者・市民に還元する取り組みとして、利用者から要望のあった設備の改修などを実施した。4つ目は、「音楽フェス」の財源に充てるため、新たに音楽フェス特定資産を積み立てた。

一般正味財産期末残高は254,165,503円、指定正味財産期末残高は1,239,781,889円、正味財産期末残高は1,493,947,392円で、前年度と比べ74,755,795円増となった。また、公益財団法人の認定上の3つの財務基準については、すべてクリアした。総じて令和5年度については、事前に計画した事業の見直しの効果もあり、予算と比べ大幅にプラスに転じることができた。引き続き増収と経費削減に努め、経営改善を進めつつ、予定されている大劇場の休館期間中においても、魅力ある事業展開にチャレンジすることなどが説明された。

次に、福本常務理事の求めに応じ監査報告があり、理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

理事から質疑がなされなかったことから、福本常務理事が諮った結果、原案どおり出席理事全員一致で承認された。

## (2) 議案第4号 令和6年度補正予算(第1号)について

佐久間管理課長が詳細を説明。

令和6年3月に開催した理事会において、令和6年度予算は承認を受けているが、議案第3号により承認された令和5年度決算(案)の正味財産期末残高と、令和6年度予算の正味財産期首残高を一致させるため、補正収支予算を編成することなどが説明された。

理事から質疑がなされなかったことから、福本常務理事が諮った結果、原案どおり出席理事全員一致で承認された。

## (3) 議案第5号 監事の任期満了に伴う次期候補者の選出について

佐久間管理課長が詳細を説明。

今回の定時評議員会の終結の時をもって、令和6年6月までが任期の仁平純一監事の任期が満了となるため、定款の規定に基づき、監事の候補者を選出し、評議員会に推薦すること。

監事の候補者としては、仁平純一氏で、重任であり、任期については、令和8年6月開催予定の定時評議員会まで、2年間となることなどが説明された。

理事から質疑がなされなかったことから、福本常務理事が諮った結果、原案どおり出席理事全員一致で承認された。

## (4) 議案第6号 定時評議員会の招集について

佐久間管理課長が詳細を説明。

- ・ 用件 令和6年度第2回評議員会
- ・ 日時 令和6年6月28日(金)10時30分から
- ・ 場所 横須賀市産業交流プラザ 第1研修室
- ・ 目的である事項

### (1) 議案審議

- ・ 令和5年度事業報告及び決算について
- ・ 監事の任期満了に伴う選任について

### (2) その他報告事項

理事から質疑がなされなかったことから、福本常務理事が諮った結果、原案どおり出席理事全員一致で承認された。

## (5) 報告事項

### ・ 令和6年3月1日以降の職務の執行状況について

佐久間管理課長が報告。

芸術劇場指定管理業務に係る横須賀市宛て月次及び年次報告を行ったことなどが報告された。

### ・ 特定天井改修工事について

佐久間管理課長が報告。

特定天井改修工事における休館期間、工事内容等について報告された。

この報告事項に対し、次の質疑応答があった。

- ・道平理事：建設業界では資材調達の遅れや時間外規制などを理由に、応札しない事例が増えている。また、工期延長や工事費増額の協定変更にも十分注意されたい。
- ・佐久間管理課長：市の発注工事であり、事業者の選定は6月後半の議会マターでタイトなスケジュールとなっている。現場としてご指摘の点は十分に注意し、必要な場合は改めて報告させていただく。

・**野島 稔 メモリアル・コンサートについて**

芦川事業課長が報告。

昨年終了を発表した「野島稔・よこすかピアノコンクール」の集大成と令和4年5月に逝去された野島稔氏を偲び開催したコンサートの開催結果について報告された。

・**個人情報の漏えいについて**

芦川事業課長が報告。

当財団の発送物において、個人情報が漏えいしたことについて、経緯、漏えい対象者への対応、今後の防止策等について報告された。

この報告事項に対し、次の質疑応答があった。

- ・島内理事：人の手によるものであり、リスクは伴うことだが、対策を重ねれば防止できると考える。今後十分注意されたい。
- ・芦川事業課長：確認が不十分であった。不十分な点を見直すとともに、宛名にラベルシールを活用するなど、再発防止に努める。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、11時20分、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席役員全員が記名押印する。

令和6年6月6日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

常務理事

福本真和

印

理事

島内太郎

印

理事

中村丁次

印

理事

道平隆

印

監事

長堀薫

印

監事

仁平純一

印